

# 「ひきこもり当事者を支える家族の役割

## ～親はどう向き合い、支援者はどう支えるのか～

ひきこもり相談の多くは、ご家族の相談からスタートします。その相談をするまで、ご家族には葛藤、不安、孤独感など、様々な感情があったと思われます。また、やっと相談ができたとしても、そこからさらに時間がかかり、疲弊されるケースも少なくありません。

今回のひきこもり支援対応強化研修（基礎編）では、「家族」にスポットを当て、相談までのご家族の思い、相談後のご家族の変化、ご家族を支えるために支援者に求められることを考えてみたいと思います。研修の前半では、京都府脱ひきこもり支援センターの取り組みの報告と、ひきこもり当事者のご家族で、ひきこもりサポートスペースゆまほほ代表の岡田 洋之氏をお招きし、当事者を支えてこられた親の視点、支援者の立場からの視点、両側面からお話いただき、家族の役割を考えてみたいと思います。また、研修の後半では、質疑応答、意見交換を行い、支援者の役割について考えてみたいと思います。

多くの方々にご参加いただき、ひきこもりの知識、理解を深めていきたいと考えています。

1. 日時・会場 【丹後会場】令和4年11月28日（月）14時～16時  
（京丹後市）大宮地域公民館（アグリセンター大宮）  
（京丹後市口大野228番地の1）  
多目的ホール

【南丹・乙訓会場】令和4年12月5日（月）14時～16時  
（亀岡市） ガレリアかめおか  
（亀岡市余部町宝久保1-1）  
2階 大広間

### 2. 内 容 【話題提供】

- 「京都府脱ひきこもり支援センターの取り組み」  
京都府脱ひきこもり支援センター
- 「ひきこもり当事者家族が一步を踏み出すということ」  
岡田洋之氏（ひきこもりサポートスペースゆまほほ代表）

### 【質疑応答、意見交換】

- \*パネラー
- ・岡田洋之氏
- ・京都府脱ひきこもり支援センター

3. 対 象 民生児童委員、ひきこもりサポーター、京都府こころの健康推進委員、ひきこもり支援に興味をお持ちの方、初期場面の相談を受けておられる方など

※お問い合わせは、京都府脱ひきこもり支援センター  
（京都府家庭支援総合センター内）まで  
電話 （075）531-5255（9時～16時）

※お申し込みは、裏面のFAXまたはメールの宛先にお送りください。

# 令和4年度 ひきこもり支援対応強化研修（基礎編）参加申込書

下記の項目を記入し、電話、Faxまたはメールでお送りください

【締切】丹後会場：令和4年11月24日（月）

南丹・乙訓会場：令和4年11月28日（月）

<電話 075-531-5255（9時～16時まで）>

<Fax 075-531-9610><メール [team-kizuna@pref.kyoto.lg.jp](mailto:team-kizuna@pref.kyoto.lg.jp)>

氏名	所属機関またはお住まいの市町村	職種	電話番号	参加希望日

## 講師プロフィール



岡田 洋之氏

民間企業で28年間、技術職、人材育成に携わり、その後、京都ジョブパーク、地域若者サポートステーションで若者の就労支援に従事。我が子の不登校ひきこもりの経験から多くを学び、現在は、京都府ひきこもり支援チーム絆地域チーム「ほっこりスペース・あい」や他府県のひきこもり当事者を支える家族会で活躍されているほか、今年度からご自身でも、「ひきこもりサポートスペースゆまほほ」にて、ひきこもり当事者やそのご家族を支える活動をされています。

## 会場案内図

<丹後会場>



大宮地域公民館（アグリセンター大宮）  
京丹後市口大野228番地の1  
京都丹後鉄道「京丹後大宮駅」下車  
徒歩 約5分

<南丹・乙訓会場>



ギャラリーかめおか  
京都府亀岡市余部町宝久保1-1  
JR亀岡駅からバス  
ギャラリーかめおか下車 すぐ